

平成29年度 第3回京都市民健康づくり推進会議
たばこ対策推進部会及び飲酒に関する行動指針推進部会 摘録

1 日時 平成30年3月12日（月） 13:45～15:15

2 場所 職員会館かもがわ3階 大多目的室

3 次第

(1) 開会挨拶 京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室長 原田 孝始

(2) 議事

① たばこ及び飲酒対策に係る平成29年度取組状況（京都市分）について

事務局	● 資料3 及び 資料4 の説明
京都禁煙推進研究会	○ 受動喫煙防止普及啓発チラシ，ポスターは京都市のホームページに公開しているのか。
事務局	● 今後公開予定としている。
京都禁煙推進研究会	○ 市内飲食店7,000店舗への郵送及び訪問による飲食店への屋内禁煙への協力依頼はJ Tが行ったのか。
事務局	● 市内業者に直接委託して実施した。
京都禁煙推進研究会	○ コンビニ等の店頭貼付予定の受動喫煙防止のためのステッカーはどのようなものか。また，既に貼付しているのか。
事務局	● ステッカーについては，現在作成中であり，厚生労働省が示した受動喫煙防止普及啓発マークに受動喫煙防止に係る協力依頼文章を記載したもの。貼付については，現在調整中。
議長	○ 防煙セミナーについて，実施校数が右肩上がりに増加することは難しいことだと思うが，今後の方向性はどのように考えているのか。
事務局	● 学校のカリキュラムの関係上，全校実施が難しい状況にある。防煙セミナーはたばこの害以外の内容も学んでいただけるため，質を落とさずに今後も関係機関の協力を得ながら実施していく。
京都禁煙推進研究会	○ 今年度は学校薬剤師の防煙セミナーへの参加が増えた。また，下西地区医

<p>京都市保健所</p> <p>議長</p> <p>事務局</p>	<p>師会の協力も得ている。防煙セミナーの従事者については、広がりを見せているものの、NPO京都禁煙推進研究会としてのマンパワーが難しい部分があり、スケジュール調整が難しい。</p> <p>講話だけのレク型ではなく、体験型で実施できたらと考えており、また、内容についても、たばこの害を伝えるだけではなく、ヘルスリテラシーを高める内容としているため、質を落とさず、これ以上実施校数を増やすためには、マンパワーを増やす必要があると考えている。</p> <p>○ 成人してから、生活習慣を変えることは、普段教室等を実施していても難しいと考えている。中高生の間にヘルスリテラシーを高めるという意味合いでも、いろいろなテーマで積極的に向かい出たいと考えている。</p> <p>○ アルコールに関して新しい取組はどの取組になるのか。</p> <p>● 「アルコールと健康を考えるセミナー」については、毎年内容を変えて実施している。図書館テーマ展示事業については、昨年度から実施している。</p>
------------------------------------	---

② たばこ及び飲酒対策に係る平成29年度取組状況及び平成30年度取組予定（構成団体分）について

<p>京都労働局労働基準部</p>	<p>○ 「受動喫煙防止対策助成金」について</p> <p>申請数 平成29年度13件（平成28年度4件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 喫煙室 11件 ・ 屋外喫煙所 2件 <p>申請数は少ないが、京都市が原則全面禁煙としていることから、喫煙室が作り難い状況があるのかもしれない。また、市内飲食店・事業所については、喫煙室を作るスペースが無いのではないかと懸念している。本助成金は、出入口に風速0.2m/秒がないと申請できない。2～3平米の喫煙室の入り口で風速を確保するためには、大きな換気装置を設置する必要があり、構造的に難しい。</p> <p>○ 「安全衛生基本調査」について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 2年に1回実施しており、今年度9月に実施した。 ・ 今回初めて、「受動喫煙に取り組んでいるか」について調査した。 ・ 約2690件の50人以上の従業員がいる事業所にアンケートを送付し、2167件（約80%）の回答があった。 ・ 3月2日付で報道発表を行っており、結果については、後日労働局のホームページに掲載予定。 ・ 実施結果（詳細当日資料参照） <p>喫煙室について、42.9%が実施できていると回答しているが、分煙器</p>
-------------------	---

<p>議長</p> <p>京都労働局労働基準部</p>	<p>を設置するだけで適正な対策が出来ていると思っている事業所もあるかもしれない。完璧な喫煙室を設置しているかまでの確認はできていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 労働局としては、この取組を今後も継続していきたい。 <p>○ 2167件の回答があったとのことだが、飲食店は含まれているのか。</p>
<p>議長</p> <p>京都労働局労働基準部</p>	<p>○ 50人以上の飲食店についてはアンケートを送付しているが、回答の有無については不明。回答していない飲食店が多いかもしれない。特にチェーン店はアルバイトが多いため、発送しているところもあるかと思うが、街中の小さな飲食店は把握できておらず送付できていない所もある。</p> <p>○ 取組を実施していて、京都市とタイアップしたい内容や、京都市に依頼したいこと等はあるか。</p>
<p>事務局</p> <p>京都府薬剤師会</p>	<p>○ 健康増進法の一部改正について閣議決定されたとのことだが、今後労働局にも指示があると思う。受動喫煙防止の助成金についても予算が増額されるため、申請数が増えることが予測される。</p> <p>店頭表示ステッカーについては、飲食店の営業許可申請時や研修時に依頼するとよいのではないか。</p> <p>● 店頭表示ステッカーについては、飲食店の営業許可申請時及び研修時に保健福祉センター職員が受動喫煙防止に係る協力依頼及び配布等を実施している。</p> <p>先日、伏見稲荷商店街に受動喫煙防止に係る協力依頼の訪問を実施したが、約8割が禁煙だった。また、店頭表示ステッカーについても、営業許可申請時に配布したものを貼付している店舗や、店舗独自でネットから取得し、貼付しており、今までの取組が少しずつ浸透していると感じている。</p> <p>○ 禁煙支援薬局について紹介</p> <p>○ 学校薬剤師は、小中学校に100%薬物関連の事業を実施しており、その授業の中でお酒やたばこの話をしている。</p> <p>○ 加熱式たばこについて、現在は路上喫煙禁止の対象になっていない。今後は過料対象となるのか。</p>
<p>文化市民局 くらし安全推進課</p>	<p>● 路上喫煙を禁止した経過としては、もともとやけどや衣服が燃えることを防止するために取組を始めた。加熱式たばこに係る対応については、現在検討をすすめており、5月までに厚生労働省から加熱式たばこの健康影響について報告があると聞いている。その内容について注視していくとともに、マ</p>

<p>京都府看護協会</p>	<p>ナーとしては紙巻きたばこと同様に、周囲の人への配慮を求めている。</p> <p>○ 主に昨年から禁煙支援者のすそ野を広げる活動を実施している。 看護師養成教育機関でNPO禁煙推進研究会の協力を得て講習会を実施しているが、カリキュラムの関係で平成29年度7校、平成30年度5校と減少している。 平成29年度からは、新人看護職を対象とした研修を開始。 また、研修カリキュラムを開発したいというがんセンターからの依頼があり、平成29年度は看護職を対象とした研修を始めた。</p> <p>○ 病院は基本的に敷地内禁煙としているが、職員は昼休みや終業後に近隣のコンビニ等で喫煙している。職員の喫煙率についてアンケートを実施している病院が多いと思うが、職員への意識づけが重要だと感じている。</p>
<p>京都市地域女性連合会</p>	<p>○ 喫煙が健康に悪いことは長年の経験から理解しており、喫煙者はいない。 電子たばこはどれだけ健康に害を及ぼすのか。</p>
<p>議長</p>	<p>○ 加熱式たばこ・電子たばこは、紙巻きたばこと摂取方法が違うが、基本的には有害物質を吸い込む。</p>
<p>事務局</p>	<p>○ 加熱式たばこ及び電子たばこがどのようなものか、またその健康影響について普及啓発が必要だと考えている。</p>

③ 「健康長寿・笑顔のまち・京都推進プラン」について

<p>事務局</p>	<p>● 資料6の説明</p>
<p>京都禁煙推進研究会</p>	<p>○ 市民健康づくり意識調査について、対象数はどのくらいか。 また、46ページの進捗管理の数値と、5ページ以降に掲載されている意識調査の数値は違うのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>● 調査は5年に1度、プラン改定に合わせて実施している。 5000人に発送し、2437件の回答を得た。 5ページ以降は、「健康づくりに関する意識調査」結果を示しているが、46ページの進捗管理の数値については、国が実施している調査等の資料を使用している。</p>
<p>京都市衛生環境研究所</p>	<p>○ 進捗管理の数値として記載されている2022年の数値は、目指すべき数値か。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 2016年の数値は現状値であり、2022年の数値は目指すべき数値を記載している。
議長	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心身の健康が健康長寿には必要なことだと思う。こころの健康分野との連携についてはどうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ● 心の健康分野については、パブリックコメント後に加筆した部分。市民の方の御意見をいただき、心身の健康が大切であると強いメッセージを記載した。

(3) 閉会挨拶 京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室 保健担当部長 吉山 真紀子